

平成 30 年 10 月 30 日

保護者の皆様へ

子どもたちの「可能性の花」を咲かせるために取り組むこと

～「全国学力・学習状況調査(6年)」 「山形県学力等調査(5年)」の結果を受けて～

東根市立東郷小学校
校長 黒田 伸幸

保護者の皆様の本校教育方針に対するご理解と日ごろの温かなご支援・ご協力に対し、厚くお礼申し上げます。

この度、県及び市教育委員会の指導・助言を経て、4月に6年生を対象に実施しました「全国学力・学習状況調査」と5年生を対象に実施しました「山形県学力等調査」の結果(概略)を報告いたします。

本校では、子どもたちの「可能性の花」を咲かせるために、保護者の皆様との連携をさらに強化し、教育活動を充実・進化していきたいと考えております。

調査結果と考察・改善策についてご一読いただき、今後もお力添えをくださいますようお願いいたします。



H30 全国学力・学習状況調査（第6学年）の結果より

■調査結果の状況(平均正答率 %)

	国 語		算 数		理 科
	A	B	A	B	
本校(県比較)	大きく上回る	大きく上回る	上回る	大きく上回る	大きく上回る
県	71	54	63	51	62
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

※A問題…基礎的な知識や技能が身についているかを調査

B問題…知識や技能を実生活の様々な場面に活用する能力等が身についているかを調査
理科は3年ぶりに実施。

※県平均との比較で表しています。

■学力結果の考察

- 国語A・B、算数B、理科において全国平均を大きく上回っています。算数Aは全国平均を上回っています。毎日の授業改善と問題傾向の分析・指導が要因と考えられます。
- 一人一人の考えを広め、深めるために協働的な学習を充実させる必要があります。児童にとって必要感のある課題を設定し、話し合いや発表の場を通して学びを次につなげることが必要です。
- 条件にしたがって、キーワードを基に文章を書くことを若干苦手としています。

■質問紙検査の結果から(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査)

(1) よかった項目 「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の合計は、すべて全国平均を上回っています。

主な内容 ※「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の合計

○自分にはよいところがある。	本校 90%	(全国 84.0%)
○将来の夢や目標を持っている。	本校 95%	(全国 85.1%)
○朝食を毎日食べている。	本校 95%	(全国 85.1%)
○家で、学校の授業の予習・復習をしている。	本校 95%	(全国 62.6%)
○地域の行事に参加している。	本校 90%	(全国 62.7%)
○新聞を読んでいる。	本校 60%	(全国 19.9%)

(2) 課題であると思われる項目

△地域社会でボランティアなどに参加したことはある。	本校 70%	(県 68.1%)
△テレビやインターネットのニュース番組を見る。	本校 90%	(県 86.6%)

(3) 考 察

- 本校の児童は、豊かな自然の中で家庭・地域の人たちに見守られながらすくすく育っています。地域や仲間との関わりは比較的良好で、みんなで協力してやり遂げる喜びを味わっています。学習・生活の習慣も安定しています。
- 人のために活動することやニュースに目を向け、広く社会を知ることにより若干物足りなさを感じます。また、本に親しみ、国語の学習を好む児童が多い反面、自分の考えをもちそれを表現することには苦手意識をもっています。

■学校での取り組みについて

- 必要感のある課題(めあて)をはっきりと示し、主体的・協働的な授業を仕組みます。
- ねらいに応じて、ペア・グループ学習など工夫し、一人一人が確実に理解できるようにします。
- 学校生活全般において、「書く活動」「話し合う活動」「発表する活動」など自分の思いを伝える機会を大切にします。探究力を育てる「なぜなにスピーチ」を充実します。
- 家庭学習を充実させるために、手応えのある問題等を準備し継続的に学力の向上に努めます。

■ご家庭での取り組みについて

- 三中学区でこれまで取り組んできた「メディアコントロール」の取り組みを今後も継続し、メディアに触れる時間の制限や睡眠時間の確保に努めます。
- PTA総会で示した「チャレンジ!すすべん」を活用して、力のつく家庭学習を進めていきます。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本調査は、学力の一側面をみるものであり、数値等に一喜一憂すべきではないと考えます。

課題については、全校の取り組みとして、教職員一丸となって指導の充実を図ってまいります。

H30 山形県学力等調査（第5学年）の結果より

■調査結果の状況（県との比較）

	平均正答率
本 校	大きく上回っている

■カテゴリー別正答率（県との比較）

分 類	区 分	平均正答率
		本 校
観点別	広げながら考える力	大きく上回っている
	深めながら考える力	大きく上回っている
	組み立てながら考える力	大きく上回っている
出題形式別	選択	大きく上回っている
	短答	大きく上回っている
	記述	大きく上回っている

■調査結果の考察

○正答率では、県・東根市平均を大きく上回っています。教科の枠を超えた教科融合型の問題においても、問題をていねいに読み進め、答えを導き出している児童が多いことがわかります。

○観点別に見ると、すべての区分で県平均を大きく上回っていますが、「組み立てながら考える力」をみる問題にやや課題が残ります。

○次のような問題（広げたり深めたりしながら考える力）は正答率が高く、よくできています。

- ・ 目的や必要に応じて細かい点に注意して読み、文章を引用したり内容を要約したりする問題
- ・ 問題状況における事実や関係を把握し理解する問題
- ・ 目的に応じて観点を決め、資料を選び読み取る問題

△次のような問題（組み立てながら考える力）がやや県平均を下回っており、今後の課題ととらえています。

- ・ 新聞記事などの文章を読んで、自らの生活との関わりにてらし、自分の考えを記述する問題
- ・ 友達の考えを式に表したり、よりわかりやすい単位を選んで表したりする問題

■質問紙検査の結果から（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査）

（1）良かった項目 ※「あてはまる」の比較

- | | |
|----------------------------------|--------------------|
| ○授業で取り組んだことが普段の生活に活かされている。 | 本校 57.9% （県 43.4%） |
| ○自分には良いところがある。 | 本校 52.6% （県 39.3%） |
| ○学校に行くのが楽しい。 | 本校 78.9% （県 61.6%） |
| ○物事を最後までやり遂げてうれしかったことがある。 | 本校 89.5% （県 74.6%） |
| ○授業でもった疑問や課題を授業以外で調べたり解いたりしている。 | 本校 52.6% （県 29.5%） |
| ○家庭学習では、宿題の他に自分で学習内容を決めて取り組んでいる。 | 本校 89.5% （県 46.8%） |
| ○読書は好き。 | 本校 78.9% （県 57.8%） |

(2) 課題であると思われる項目 ※「あてはまる」の比較

△地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。	本校 15.8% (県 20.4% 市 25.1%)
△新聞を読んでいる。	本校 5.3% (県 12.7% 市 15.6%)
△仕事やお手伝いに取り組む時は、自分で目標を立て、計画をもとに進めようとする。	本校 26.3% (県 30.0% 市 34.5%)

(3) 考 察

- 多くの項目で県・東根市平均を上回っており、学校が楽しく、夢や目標を持って意欲的に学んでいることがうかがえます。
- 自分の考えを表現すること、友達と話し合うことで自分の考えを深めたり広げたりできること、授業のまとめを自分の言葉でわかりやすくまとめて書くことも、自己評価が高くなっています。
- 自分で考えて計画的にじっくり物事を進める力に物足りなさを感じます。
- 新聞に目を通したり社会全体に目を向け、広い視野で物事を見たり考えたりすることがこれからの課題です。

■学校での取り組みについて

- 自分事としての課題(めあて)をはっきりと示し、主体的・探究的な授業づくりに取り組みます。
- ねらいに応じて、少人数授業を展開し、一人一人が確実に理解できるよう授業形態を工夫します。
- 学校生活全般において、「調べる活動」「話し合う活動」など自分の思いを伝える場や発表する機会を大切にします。新聞やニュースに目を通すことで、幅広い視野で物事を見つめる目を養います。
- 家庭学習充実のために、手応えのある問題等を準備し、継続的に学力の向上に努めます。

■ご家庭での取り組みについて

- 三中学区でこれまで取り組んできた「メディアコントロール」の取り組みを今後も継続し、メディアに触れる時間の制限や睡眠時間の確保に努めます。
- PTA総会で示した「家庭学習の手引き」を活用していただき、力のつく家庭学習を進めていきたいと思えます。どうぞ、ご理解とご協力をお願いします。

本調査は、学力の一側面をみるものであり、数値等に一喜一憂すべきではないと考えます。
課題については、全校の取り組みとして、教職員一丸となって指導の充実を図ってまいります。

